

《はじめに》

今年の冬は冷え込みが厳しく、久しぶりに本格的な冬でしたね。唐沢溜も広い面積が氷に覆われ、子どもの頃スケートをしたことを懐かしく思い出した人もいたことでしょうか。とは言え近頃では日差しもすっかり春めいて、孝子桜まつりの時期が近いこと実感します。2月23日、日本気象協会から発表された今年の桜の開花予想によると、宇都宮の開花日は4月2日とのことで、2日・3日の桜まつりには、どうか咲いてくれるかもしれませんね。

孝子桜の開花に誘われるように、まもなく城山西小学校は、小規模特認校7年目の新学期を迎えますが、今年も多くの新入生を迎え、全ての学年で複式学級が解消されて3年目となります。

二度と複式学級に戻らないように、これからも地域の皆さんが心を一つにして地道な努力を積み重ねていきましょう。

今回も、最新の入学者数の状況をはじめ、地域の皆様に最新情報をお届けします。

最新情報コーナー

◇◇平成23年度の新1年生は12人となる見込みです◇◇

2月26日現在、西小に入学する児童数の状況は次のとおりです。

1年生は12人で、内訳は、地域内から4人、地域外から8人です。その他、地域外からは2年生と6年生に一人ずつ転入する予定ですので、地域外から合計10人を迎えることとなります。

児童総数は96人で、昨年と同様と同等の人数を確保したこととなります。入学を迷っている人もいるとのことなので、ひょっとするともう少し増えるかもしれません。

(平成23年2月26日現在)

区 分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
地域内児童数	4人	4人	6人	11人	3人	5人	33人
地域外からの児童数	8人	10人	13人	10人	11人	11人	63人
計	12人	14人	19人	21人	14人	16人	96人

※ 複式解消条件：2学年の合計が17人以上（ただし1+2年は9人以上）

最新情報

◇◇『古賀志の里』が「とちぎのふるさと田園風景百選」に みごと選定されました！！◇◇

美しい農村風景や守り伝えられてきた文化、地域コミュニティなどを百年後の未来にも引き継いでほしいと、栃木県が県内から募集していた「とちぎのふるさと田園風景百選」に、『古賀志の里』を応募したところ、見事に選定されました。

大学教授や地域づくりの専門家、芸術家などの有識者や行政の担当者が構成する選考委員会で評価が行われ、なんと古賀志は一番高い評価をいただき、選定されました。

2月2日には県総合文化センター大ホールにて約1,200人もの大勢の人たちを集めて、認定式並びに記念シンポジウムが開催され、地域の代表者9名で出席してきました。

今回の選定でこの地域はすばらしい地域資源や地域力があることが改めて確認することができ、これらの資源を活かしてこれからも“城山西小と地域の振興”のために、今後も力を合わせてがんばっていきましょう。



美しい古賀志山と田植えの風景



西小と子どもたち



認定書もらいました！

活動報告

◇◇こがし桜ルネッサンス事業で『唐沢溜（水のミュージアム）』の案内版の設置や散策路の整備を行います！◇◇

こがし桜ルネッサンスではこれまで、「唐沢溜（水のミュージアム）」の整備を進めてきましたが、唐沢溜は古賀志山への車で通るルートの途中にあるため、せっかくきれいに整備しても足を運んでくれる方が少ない状況でした。

そこで、唐沢溜（水のミュージアム）の存在を多くの人に知っていただこうと、今年の孝子桜まつりの前に、小学校の入り口付近に案内看板の設置を進めることにしました。

また、見晴台へのルートである階段の間隔が広すぎ歩きづらいため、改修・補強を行とともに、孝子桜を見下ろす展望台へのルートが滑りやすいため、階段の設置も併せて行うことにしました。



まずは段取りの確認



一斉に作業を開始！

◇◇孝子桜を絶やさないうよう、“孝子桜二世”の準備を進めています！◇◇

孝子桜樹勢回復事業が今年度で終わりました。孝子桜の元気が回復し、沢山の美しい花が咲き、何十年も何百年も元気でいてほしいと願わずにはいられません。

一方で、孝子桜はかなりの老木であり、突然枯れてしまうこともないとは言えません。そこで、万が一孝子桜が枯れてしまっても、孝子桜のDNAを後世に引き継ぐことが必要と考え、接ぎ木と挿し木により、“孝子桜の分身”を創ることにしました。

2月26日（土）に、栃木県樹木医会の蓮実先生をお迎えして、接ぎ木と挿し木の作業を行いました。接ぎ木は13本、挿し木は50本ほど行いましたが、接ぎ木の方が成功の確率が高いとのことです。



慎重に切り取ります



接ぎ木の様子



元気に育てよ！

考える会からのお願い～『孝子桜まつり』への参加について～

「第9回孝子桜まつり」が“つなげよう ふるさとを未来へ”をスローガンに4月2日（土）3日（日）の両日開催されます。今年も実行委員会が中心となって着々と準備を進めてきました。

3月5（土）には宇都宮市内でポスター貼りを行い、PR活動に努めるほか、駐車場の整備を行うなど、お客様を温かくお迎えする態勢も整いつつあります。

地域と西小の代名詞としてすっかり定着したこの手作りのお祭りを成功させるため、一人でも多くの人々の協力が必要となりますので、地域の皆さんの積極的な参加をよろしくお願いいたします。



今後とも考える会の活動に対して、ご協力とご支援のほどよろしくお願いいたします。